

早めの対策で安心

第4回

わが家で役立つ保険活用術

「ドライブレコーダー」は事故やトラブル時の動かぬ証拠に

あおり運転や危険運転による事故やトラブルなどが近年大きく問題視され、ドライブレコーダーの必要性は日々大きくなっています。ドライブレコーダーとは、自動車におけるトラブルが起きた時の正確な状況を「記録」するものです。事故は突然起こるものなので、よく覚えていないことや主張が曖昧なことが多く、事故の状況を「記憶」で伝えることによってお互いの意見の食い違いや、ほんの少しの状況の違いによって過失や責任の割合が変わってしまうこともあります。

以前、信号のある交差点でお互いに「青信号だった」と主張する事故がありました。お互いに青という状況はありえません。しかし、目撃者も証拠もないということでなかなか折り合いがつかず、最終的に50:50で解決になりました。もしドライブレコーダーが付いていれば解決も早く、実際に青だった方は責任を負わずに解決できたことでしょう。今や「記憶より記録!」が自己防衛にもつながることは間違いありません。

近年ではドライブレコーダー付きの保険も発売されています



ドライブレコーダー付きの保険で改善されること

※保険会社によって
内容が異なる場合があります

❶ 事故状況が双方違う

→ドライブレコーダーは嘘をつかず、真実を伝える

❷ 動転して事故状況を覚えていない

→録画を元に事故の初期対応をする

❸ 事故解決のスピードが上がる

→事故で揉めるのは過失割合

→事故状況相違での揉めごとが減少

❹ 事故を起こしたお客様に的確にアドバイス

→自動通報で安心ダイヤルから連絡

→早期の対応で不安を解消

ドライブレコーダーは、車を運転する際の自己防衛の為に必要不可欠なアイテムです。興味のある方は、現在ご加入されている保険会社に相談されてはいかがでしょうか。



越川 周一

協力：総合保険代理店サンツクバ(株)

2級ファイナンシャル・
プランニング技能士